



美女の舞(びじよのまい)



飛燕(ひえん)



獅子頭(ししがしら)

コレクション特別公開

さくらそう品種展

筑波大学コレクションの中から100種類以上の園芸品種を展示



満月(まんげつ)



紅麒麟(べにきりん)



小桜源氏(こざくらげんじ)



鈴の音(すずのね)



月の都(つきのみやこ)



開花状況により、写真の品種が展示されないこともあります。あらかじめご了承ください。

2025 4/19日 - 4/27日

[開園時間] 9:00~16:30 (入園は16:00まで)
4/26(土)・27(日)は9:00~17:00
(入園は16:30まで) 休園日:4/21(月)

[入園料] 一般 320円 団体(20名以上) 250円 高校生以下および65歳以上は入園無料 障害者手帳をお持ちの方およびその介護者1名無料

[主催] 国立科学博物館 筑波実験植物園、筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センター

[協力] 筑波大学さくらそう里親の会、NPO つくばアーバンガーデニング

最新の情報は
こちらから →



筑波実験植物園

〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1
TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998
<https://tbg.kahaku.go.jp/>



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

サクラソウは、春を告げる花として日本各地に自生し、古くから親しまれてきました。その野生種をもとに、江戸時代から現代までに多様な園芸品種が作出されてきました。「さくらそう品種展」では、筑波大学が保有するコレクションの中から、100種類以上の園芸品種を展示します。江戸時代から受け継がれる日本の伝統園芸の粋をご覧ください。

第一会場 [教育棟]

さくらそうを知る

さくらそうとはどのような植物か？野生のサクラソウから、さくらそう栽培の歴史、園芸品種の由来と成立までを、パネルで解説します。



サクラソウの自生地の様子



園芸品種の交配から生じる多様な色・形

[さくらそう専門家の押し品種]

さくらそうを究めた2人の専門家が、おすすめの園芸品種と鑑賞のポイントをパネルで紹介します。さくらそうを見る眼が変わるかも？

[クイズラリー]

さくらそう解説パネルを読みながらクイズに答えて、さくらそうについての知識を深めましょう。参加者には「さくらそうオリジナルシール」をプレゼント。

※数に限りあり。無くなり次第終了

シール(イメージ)



さくらそうを育てる

筑波大学と「さくらそう里親の会」が増殖したさくらそう品種を販売します。

※当日分が無くなり次第終了します。

※一人あたりの購入数制限あり。



第二会場 [日本庭園周辺]

1種の野生種から作出されたとは思えないほどの多彩な色、形、姿をお楽しみください。



① 桜草花壇：江戸時代に考案された観賞方法



② 会期中は、100種類以上の園芸品種をご覧いただけます

アクセス

つくばエクスプレス「つくば」駅より

- 電車・バス
 - つくバス 北部シャトル筑波山行き「天久保(筑波実験植物園)」下車徒歩3分
 - 関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩3分または筑波大学循環(左回り)「天久保2丁目」下車徒歩10分

- 自動車
 - 常磐自動車道 桜土浦I.C.から北(筑波山方面)へ約8km
 - 圏央道 つくば中央I.C.から約7km
 - 無料駐車場 約120台

